

A.T. カーニー

世界のスポーツ市場に関するレポートを公開

～ 情熱から利益へ：スポーツの価値創出 ～

経営コンサルティング会社 A.T. カーニー株式会社（東京都港区、日本代表：関灘 茂）は、本日、同社がグローバルで実施した世界のスポーツ市場に関する調査報告書の日本語版『情熱から利益へ：スポーツの価値創出』をウェブサイトで公開しました。

【URL】 <http://bit.ly/4mbnBvn>

“2025年、世界のスポーツ市場の価値は4,170億ドルを超え、2020年以降、年平均5%のペースで成長を続けている。かつては純粋に「情熱」や「勝利への競争心」に突き動かされていたこの業界は、今や多くの他業界と同様に、「価値の創出と獲得」が中核となる、ダイナミックなビジネス環境へと進化している。”

…から始まる当レポートは、A.T. カーニー（グローバル・ブランド名は KEARNEY）が英語で公開した

“[From passion to profit: unlocking value in sports](#)” を、共著者でもある同社東京オフィスのシニアパートナー [向山勇一](#) の監修のもと日本語化したものです。

本稿では、スポーツにおける価値創造の5つのコアレバー（成長を促進させるための手段）として

- **商業力の強化**：商業エンジンの加速
- **ファンエンゲージメントとインサイト**：ファンと共に歩む
- **プラットフォーム拡大**：スポーツストリーミングプラットフォームの構築・連携
- **技術主導のイノベーション**：スポーツテックの価値解放
- **オペレーションの効率化**：ビジネスのベストプラクティスによるプロフェッショナル化

を挙げており、スポーツのより根本的な変革がファンエンゲージメントの新たな機会を切り拓く好例として、2024年7月にKEARNEYとサポーティングカンパニー契約を締結した※1 日本サッカーのトップリーグである Jリーグにも取材しました。本調査にあたり、Jリーグの野々村芳和チェアマンより

「2023年、Jリーグはグローバルなサッカーのカレンダーに合わせてシーズン日程を移行する重要な決断を行った。ヨーロッパがサッカーエコシステムの中心である中、異なるシーズンスケジュールを維持することは、日本サッカーが世界に追いつき、そして追い越すという目標に対する構造的な障壁と見なされていた。この移行は単なる日程変更ではなく、競技水準の向上と持続可能な成長の基盤を築く戦略的な動きである。私たちはこの決断が日本サッカーにとって新たな成長フェーズの始まりを示し、これまでよりも世界の舞台で確固たる地位の確立が描けるようになる」と信じている。」と、コメントをお寄せいただきました。

本稿は、“スポーツにおいて「情熱」から「利益」へと移行する者には、明確な志と卓越した実行力が求められる。それに応えられる者には、単なる成長にとどまらない、グローバルスポーツの次なる時代を形作るチャンスが待っている。” と結んでいます。

※1 参照：[プレスリリース](#)

A.T. カーニー、Jリーグとパートナー契約を締結 Jリーグならびにスポーツ産業の「創造と変革」に貢献

###

本件に関するお問合せ先：

A.T. カーニー 広報

メール：Japan.PR@kearney.com

A.T. カーニー（グローバル・ブランド名は KEARNEY）は、1926 年に米国シカゴで創業、1972 年に日本に進出しました。高度な専門性、目に見える成果の実現、顧客企業との密接な協働作業を最大の強みとし、現在では、世界 45 の国と地域、89 拠点に、約 5,700 名のスタッフとグローバルネットワークを擁しています。あらゆる主要産業分野のグローバル 1,000 社や各国の大手企業や政府系機関等を中心顧客とし、戦略からオペレーション、IT にいたるまで一貫した高品質のサービスを提供しています。日本国内においても金融、通信、ハイテク、自動車、消費財・小売、ヘルスケア、エネルギー、化学をはじめとする 20 の分野に力点を置いて、顧客への貢献という強い決意のもと活発な活動を行っています。

詳しくは Web サイトをご覧ください。www.jp.kearney.com